

# マクミランの ロメオとジュリエット

2011.6/25 ~ 7/3

レパートリー  
Repertory

MacMillan's Romeo and Juliet

オペラバレエ | 6回公演

振付: K. マクミラン	Choreography : K. MacMillan
音楽: S. プロコフィエフ	Music : S. Prokofiev
監修: D. マクミラン	Final Supervision : D. MacMillan
舞台美術・衣裳: P. アンドリュース	Designs : P. Andrews
照明: 沢田祐二	Lighting : Y. Sawada
指揮: 未定	Conductor : TBA
管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団	Orchestra : Tokyo Philharmonic Orchestra

## 04年の再演から7年を経て 英国人振付家マクミランの傑作バレエが待望の再演

シェイクスピアの悲劇『ロメオとジュリエット』は、誕生から400年あまりを経た今も、人々の心を惹き付けてやまない永遠のラブストーリーです。1965年マーゴ・フォンテンとルドルフ・ヌレエフによって英国ロイヤルバレエで世界初演されたマクミラン版のドラマチックな舞台は、観る者すべてを虜にする魅力にあふれています。新国立劇場バレエ団ではこのケネス・マクミラン版で2001年10月にレパートリー化。プロコフィエフの音楽と緊密な関係をもって展開されるこのバレエは、マクミランの最高傑作とされています。2004年に再演されてから7年を経ての上演となります。

### ものがたり

舞台は北イタリアのヴェローナ、モンタギュー家とキャピュレット家は互いに反目し、抗争を繰り返していた。そんな争いの最中に、モンタギュー家のロメオはキャピュレット家の仮面舞踏会に潜り込み、一人娘のジュリエットに出会う。たちまち恋に落ちた二人は翌日ロレンス神父のもとで密かに結婚式を挙げる。しかし、その直後にロメオの親友マキューシオが、キャピュレット家のティボルトに殺されたため、ロメオはティボルトを殺し復讐を果たす。初夜を過ごした後、ヴェローナからの追放を言い渡されているロメオは旅立つ。残されたジュリエットには、両親が決めた婚約者パリスとの結婚が迫っていた。相談を受けたロレンス神父は一計を案じて、ジュリエットに一時的に仮死状態となる薬を与える。しかし、手違いでその計略がロメオに伝わらず、墓所に眠る恋人のもとへ駆けつけた彼は、絶望し毒を飲んで死ぬ。眠りから覚めたジュリエットはロメオの遺体を発見し、ロメオの短剣で胸を刺し、後を追う。



## ケネス・マクミラン(1929～1992)

Sir Kenneth MacMillan

1929年スコットランド生まれ。サドラーズウエルズ(現ロイヤル)バレエ学校で学び、46年にはサドラーズウエルズ・シアター・バレエの創立メンバーとなる。その後コヴェント・ガーデン(ロイヤルバレエ)に移籍、優秀なクラシック・ダンサーとしてだけでなく、面白く共感を呼ぶマイムも得意とした。52年にサドラーズウエルズに戻り、若手ダンサーたちの自主公演で処女作『ソナンビュリズム』(1953年)などを発表、好評を得たことから、振付家としての活動を開始。『隠れ家』(1957年)、『招待』(1960年)でリン・シーモアを起用、優れた演技力を発揮した彼女は以後20年近くに渡りマクミランのミューズとなる。マクミラン初の全幕バレエ『ロメオとジュリエット』はリン・シーモアとクリストファー・ゲイブルのために振り付けられ、65年コヴェントガーデンで初演された。バレエ学校時代の仲間であるジョン・クランコが芸術監督を務めるシュツットガルト・バレエでマーラーの歌曲による『大地の歌』が65年に初演されるなど、シュツットガルト・バレエに多くの作品を提供する。66年にはベルリン・ドイツ・オペラにバレエ芸術監督して招かれ、『眠れる森の美女』や『白鳥の湖』の演出、一幕ものの『アナスタシア』の振付などを手掛ける。70年にはアシュトンの後任としてロイヤルバレエのバレエ芸術監督に就任。3幕ものにリメイクされた『アナスタシア』や『マノン』などの長編バレエなど自らの作品に加え、ロビンズ、バランシン、ノイマイヤーなど他の振付家の作品をレパートリーに加える。振付に専念するため77年に芸術監督を辞任し、78年に『マイヤリング』全3幕を発表、以後『グローリア』(1980年)、『イサドラ』(1981年)などを振り付ける。『影の峡谷』(1983年)では、アレクサンドラ・フェリを見出し、84年にアメリカン・バレエ・シアターからアソシエイト・アーティスティック・ディレクターとして招かれた際フェリを同行し、『マノン』『ロメオとジュリエット』などがアメリカン・バレエ・シアターのレパートリーに加わった。ダーシー・バッセル主演の『パゴダの王子』(1989年)、バッセルとイレク・ムハメドフ主演の『冬の夢』(1991年)、ムハメドフとヴィヴィアナ・デュランテに『ユダの木』(1992年)を振り付けた。92年『マイヤリング』上演中の英国ロイヤルバレエの楽屋で死去。同じ夜、バーミンガム・ロイヤルバレエでは、マクミラン版『ロメオとジュリエット』が上演されていた。

